

一般会計等財務書類4表を公表します

問会計課 ☎ 25-5219

※表中の（ ）内は平成28年度の数字です。
 ※今回から一般会計等に係る4表を公表しています。

1. 貸借対照表

秩父市の資産保有状況と、その資産の財源調達状況を対照表示したものです。

資産	1,409億円(1,427億円)
市が所有している財産	
【内訳】	
固定資産	
公共資産	1,184億円(1,205億円)
(土地、建物、道路など)	
その他	147億円(179億円)
(出資金、基金、長期延滞債権など)	
流動資産	
現金、預金	20億円(19億円)
(歳計外現金含む)	
その他	58億円(24億円)
(未収金、財政調整基金など)	

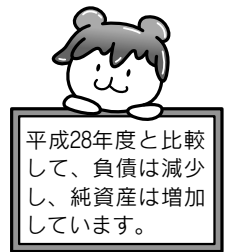
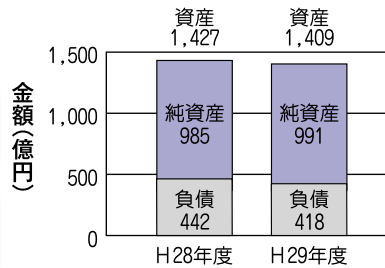
市民1人あたり資産 222万円(222万円)
 市民1人あたり負債 66万円(69万円)

純資産比率 70.3%
 (資産のうち、返済義務を負わない資産(純資産)の割合) (69%)

負債 418億円(442億円)
 将来世代が負担する
 借入金や地方債などの債務

純資産 991億円(985億円)
 現在までの世代がすでに負担した
 金額で返済義務を負わないもの

負債・純資産合計 (=資産) 1,409億円(1,427億円)



2. 行政コスト計算書

一会計期間における資産形成に結びつかない、行政サービスに伴うコストを明らかにするものです。

経常費用	250億円(242億円)
【内訳】	
人件費	49億円(47億円)
職員給与、議員報酬など	
物件費等	88億円(84億円)
委託料、維持補修費、減価償却費など	
その他の業務費用	4億円(5億円)
地方債の利子など	
移転費用	109億円(106億円)
補助金、生活保護費、児童手当など	
経常収益	13億円(13億円)
使用料・手数料などの収入	
純行政コスト	237億円(229億円)
(経常費用－経常収益＋臨時損失－臨時利益)	
※臨時損失、臨時利益は1億円未満	

市民1人あたり人件費 8万円(7万円)
 市民1人あたり純行政コスト 37万円(36万円)

※平成28年度決算から、総務省が示した「統一的な基準」で財務書類を作成しています。

※作成基準日：平成30年3月31日(基準日時点の人口：63,365人)

※会計期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

なお、詳しい内容については☎をご覧ください。

3. 純資産変動計算書

一会計期間において、純資産がどのように変動したかを表します。

前年度末純資産残高	985億円(977億円)
当期変動額	
純行政コスト	▲237億円(▲229億円)
財源	241億円(235億円)
市税収入、国県補助金など	
その他	1億円(0億円)
無償所管換など	
本年度末純資産残高	991億円(985億円)

4. 資金収支計算書

一会計期間における資金の流れを性質の異なる3つの活動に分けて表示したものです。

前年度末資金残高	18億円(23億円)
当期収支	
業務活動収支	28億円(25億円)
行政サービスに伴う経常的な収支	
投資活動収支	▲4億円(▲50億円)
資産形成活動に伴う収支	
財務活動収支	▲22億円(19億円)
地方債などの管理に伴う収支	
本年度末資金残高	19億円(18億円)
本年度末歳計外現金残高	1億円(1億円)
本年度末現金預金残高	20億円(19億円)
(資金残高＋歳計外現金残高)	